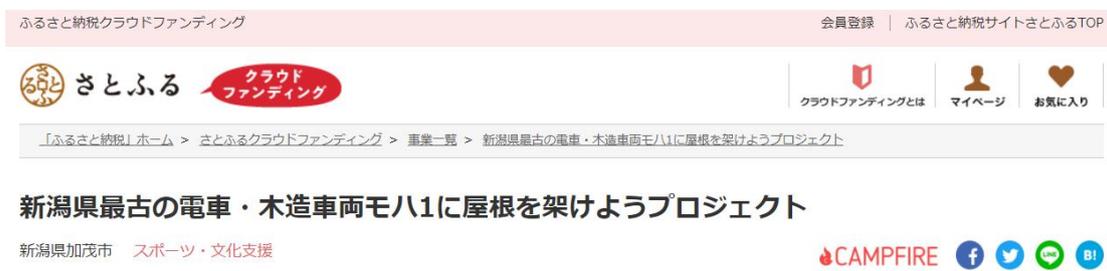


## さとふると新潟県加茂市、新潟県最古の木造車両「モハ1」に 屋根を架けるため、寄付受け付けを開始

～クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、3,000,000円を目標に寄付を募集～

ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」(<https://www.satofull.jp/>)を運営する株式会社さとふる（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤井 宏明）は、寄付金の使途に応じて事業を立ち上げ寄付を募る「さとふるクラウドファンディング」(<https://www.satofull.jp/projects/top.php>)にて、新潟県加茂市で屋外展示されている新潟県最古の木造車両「モハ1」を強い日差しや雪などの影響から保護する屋根を建設し、長期保存を目指すため、2021年8月20日より寄付受け付けを開始します。

### ■イメージ



ふるさと納税クラウドファンディング | 会員登録 | ふるさと納税サイトさとふるTOP

さとふる クラウドファンディング

クラウドファンディングとは | マイページ | お気に入り

「ふるさと納税」ホーム > さとふるクラウドファンディング > 事業一覧 > 新潟県最古の電車・木造車両モハ1に屋根を架けようプロジェクト

### 新潟県最古の電車・木造車両モハ1に屋根を架けようプロジェクト

新潟県加茂市 スポーツ・文化支援

CAMPFIRE



▲モハ1

現在の寄付合計

0円

目標金額: 3,000,000円

0%

支援者合計

0人

受付終了日

2021/11/1

この事業を支援する

「さとふるクラウドファンディング」は、ふるさと納税の仕組みを活用して、寄付金の使途に応じた事業を立ち上げ寄付を募る、クラウドファンディング型ふるさと納税サイトです。寄付者は「さとふるクラウドファンディング」上で具体的な寄付金の使途から寄付先を選択することができるほか、自治体への応援メッセージの投稿や集まった寄付金額を随時確認することもできます。

新潟県加茂市が所有する新潟県最古の電車で唯一の木造車両「モハ1」は、1923年に製造され、加茂市から五泉市にまたがり走った蒲原鉄道の開業で入線し、地域社会の大動脈として活躍しました。1954年に現役を引退したあと、蒲原鉄道の倉庫に転用されて廃棄を免れ、1999年の同鉄道廃線で改めて取り壊しが決まりますが、保存を求める愛好家などの声が高まり加茂市へ寄贈されました。現在は蒲原鉄道の冬鳥越駅の跡地である「冬鳥越スキーガーデン」で屋外展示されています。しかし、強い日差しや冬季の豪雪によって破損が進んでいることから、加茂市は車両を長期に保存し、地域社会がたどった盛衰を反映する文化遺産として後世へ遺すため、本事業を通じて寄付を募ります。寄付金は車両を保護するための屋根を建設する工事費用の一部として活用されます※。

※ 目標金額以上に寄付金が集まった場合には、「モハ1」と並んで保存されているほかの車両の整備に活用される場合があります。

## ■事業概要

事業名：新潟県最古の電車・木造車両モハ1に屋根を架けようプロジェクト

目標寄付額：3,000,000円

受付期間：2021年8月20日（金）～2021年11月1日（月）

URL：[https://www.satofull.jp/projects/business\\_detail.php?crowdfunding\\_id=129](https://www.satofull.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=129)

※ 受付期間や募集金額は、変更の可能性があります。

## ■新潟県加茂市からのメッセージ

新潟県内最古の電車である唯一の木造車両モハ1を、加茂市が蒲原鉄道株式会社さまから譲渡を受けて、21年が過ぎました。青空の下、アンティークな車両が現役で走っているようにみえると評判で、展示場所（冬鳥越スキーガーデン）には全国から愛好者が訪れますが、損傷が進み、年々維持が難しくなっています。しかし、車両の重要性に鑑みて、市は屋根を架け、雨ざらしの現状を改めて長く保存に努める決意をいたしました。モハ1は時代の変転と上手に付き合い、愛されてきた電車です。数奇な運命をたどった車両の歩みは、地域社会の足跡と重なります。加茂市が保存に微力を尽くすのは、このためです。再来年でモハ1は竣工100年の節目を迎えます。事業の主旨にご理解を賜り、よろしくお力添えをお願いします。

## ■株式会社さとふると株式会社 CAMPFIRE の取り組みについて

株式会社さとふると国内最大の購入型クラウドファンディングプラットフォーム「CAMPFIRE（キャンプファイヤー）」を運営する株式会社 CAMPFIRE（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：家入 一真）は業務提携しており、両サイトにてふるさと納税制度を活用した自治体のクラウドファンディングプロジェクトへの寄付受け付けを行っているほか、協力して自治体へ事業の企画アドバイスや記事の制作支援を実施しています。本事業は「CAMPFIRE（キャンプファイヤー）」からも寄付申し込みが可能です。

株式会社さとふるとは、今後もさまざまな取り組みを通じて地域の生産者や自治体に寄り添いながら、地域活性化を推進します。

## ■株式会社さとふるについて

株式会社さとふるは、ふるさと納税（自治体への寄付）を通して地域活性化を推進しています。「ふるさとの元気を“フル”にする、ふるさとの魅力が“フル”に集まる ふるさと応援、ふるさと納税ポータルサイト」をコンセプトに、寄付者向けに「さとふる」で寄付先の自治体やお礼品の選定、寄付の申し込み、寄付金の支払いなどができるサービスを提供しています。自治体向けには寄付の募集や申し込み受け付け、寄付金の収納、お礼品の在庫管理や配送など、ふるさと納税の運営に必要な業務を一括代行するサービスを提供しています。また、ふるさと納税を活用した地域活性化の取り組みを掲載する、地域情報サイト「ふるさとこづち」(<https://www.satofull.jp/koduchi/>)を運営しています。

## ■株式会社 CAMPFIRE について

株式会社 CAMPFIRE は、あらゆるファイナンスニーズに応えるべく、“資金調達の民主化”をミッションに、個人やクリエイター、企業、NPO、大学、地方自治体など、さまざまな挑戦を後押ししています。国内最大のクラウドファンディング「CAMPFIRE」は、2011年のサービス開始から現在（2021年8月9日時点）までに54,000件以上のプロジェクトを掲載し、支援者数は延べ560万人以上、流通金額は470億円に達しました。1人でも・1円でも多くお金がなめらかに流通する世界を目指して、CAMPFIRE 経済圏をつくっています。詳細はこちら(<https://camp-fire.jp/>)をご覧ください。

以上

- この報道発表資料に記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- この報道発表資料に記載されている内容、製品、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。

---

### 【本件に関する問い合わせ先】

お客さまから…さとふるサポートセンター E-mail：[ask@satofull.co.jp](mailto:ask@satofull.co.jp)

Tel：0570-048-325 受付時間：午前10時～午後5時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）